

岩手県支部 委員会・研究会 活動報告

活動名	2015 年秋季講演会 北上川を知る (CPD 番号 27-7)
主催	公益社団法人 日本技術士会 東北本部 岩手県支部
日時	平成 27 年 11 月 8 日 (日) 14:00~16:30
場所	エスポワールいわて 2F 大ホール (盛岡市中央通 1-1-38)
参加人数等	40 人

活動内容

1. 講演会の概要

(1) 北上川と私 (公益財団法人岩手県下水道公社 理事長 若林 治男 氏)

北上川流域の洪水被害を中心にユーモアを交えお話を頂いた。北上川は「いぐね」など文化が感じられる品格や河川堤防が少なく川際が曲線的で景観的に優れているなど、北上川の普段気づかない視点も参考になった。一方で、人口減少、地方創生の時代、災害で元に戻るのではなく、一定のエリアまで広げた再生計画を立案することが有効で、そのためには地方に権限を委譲すべきと言った話が印象的であった。

(2) 震災は忘れたところに～H25 洪水の教訓～

(一般社団法人 東北地域づくり協会 技術企画部長 西條 一彦 氏)

豪雨の発生のメカニズムは、100 年後も国土の地形が変わらないため予測できることや、100 年経って北上川流域のダムが完成し、これからの 100 年何をすることが重要であるとの話が印象的であった。危機管理時の経験上、有事の際は現場に任せることが重要であることや、河川内の木を切らないと流木となり危険であるとのお話が、自然環境の保全とも関連性があり大変興味深い内容であった。

2. 総評 (前岩手大学学長 平山先生)

日本の河川の中で北上川の流れは人の活動の動きと並行していることが特長であり、人の生活に優しいとお話や、今後の河川技術には、社会学的視点、人文学、地域特性に留意することが重要であり、日本の中で水系社会の良さが残っているのは北上川ぐらいであるとお話が印象的であった。



挨拶する村上支部長



講演される若林氏



講演される西條氏

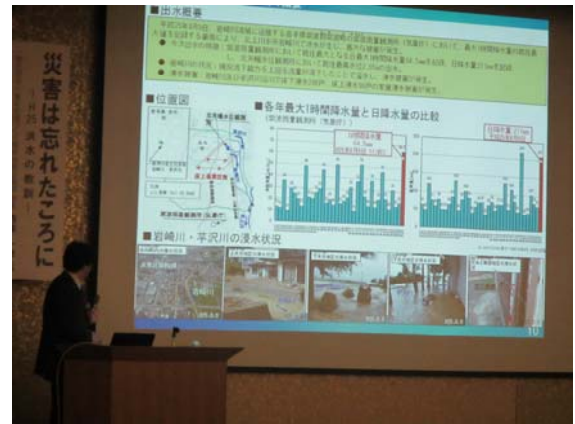


総評される平山先生

岩手県支部 委員会・研究会 活動報告



会場の様子



若林さんの講演の様子



西條さんの講演の様子



会場からの質疑



懇親会で西條さん挨拶



懇親会で齋藤先生挨拶